

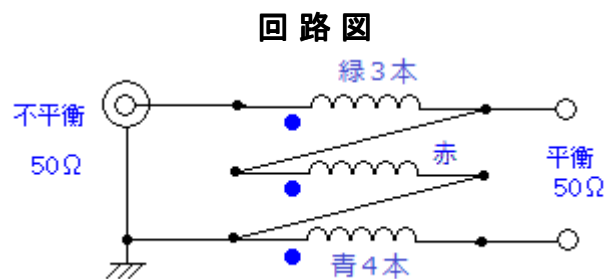
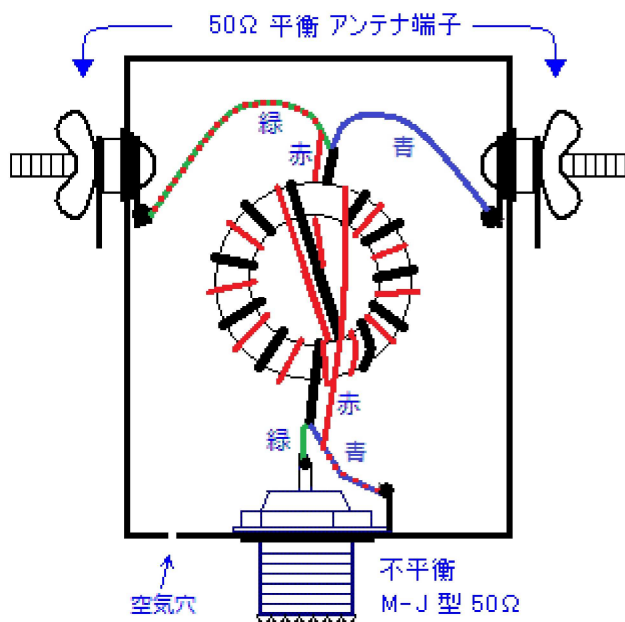
アンテナバラン 組立部品セット KIT-DB-50-v3

50Ω 不平衡 1:1 平衡 1.8MHz~60MHz
 許容入力電力：連続 60W / CW SSB 130W
 サイズ50W×75H×30Dmm(突起物を除く) 重量 約 120g

50Ω 1:1 バランの作り方

- ①、コアの巻き方の通り、0.32mm 7本組被膜線を、コアに、11回巻きます
- ②、巻き始めと、巻き終わり、端末配線の通り配線し、半田付けします
- ③、プラボックスにボルトナットM-BR(M型座)を取り付ける
- ④、巻いて作ったコアを、構成図のように、ボックス内に収めて結線半田付けします
- ⑤、接着剤などで、端子等をかためて、フタをして完成です
- ⑥、結露対策用 水抜き空気穴が下側向きに設置します

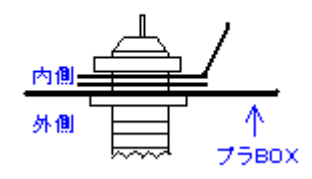
構成図



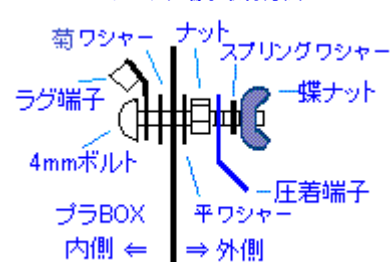
回路図

部品表	
フェライトコア5943000601-1	1
0.32mm7本皮膜より線40cm	1
0.51mm皮膜単線45cm	1
M型接栓座 M-BR	1
ステンボルトナットワッシャー	2組
蝶ナット、ラグ端子	2組
プラボックス	1
波型碍子	1
結束バンド	2

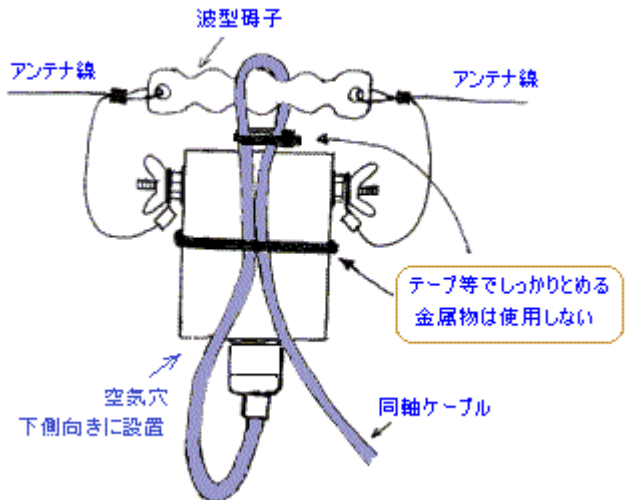
同軸接栓座MBRの取付方



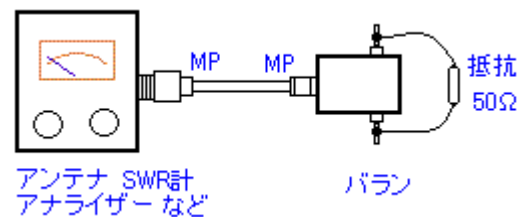
アンテナ端子取付方法



バラン取付方法



SWR測定方法



抵抗は短く接続します
 (コアに直に接続した方が測定誤差は少ない)

コア完成例

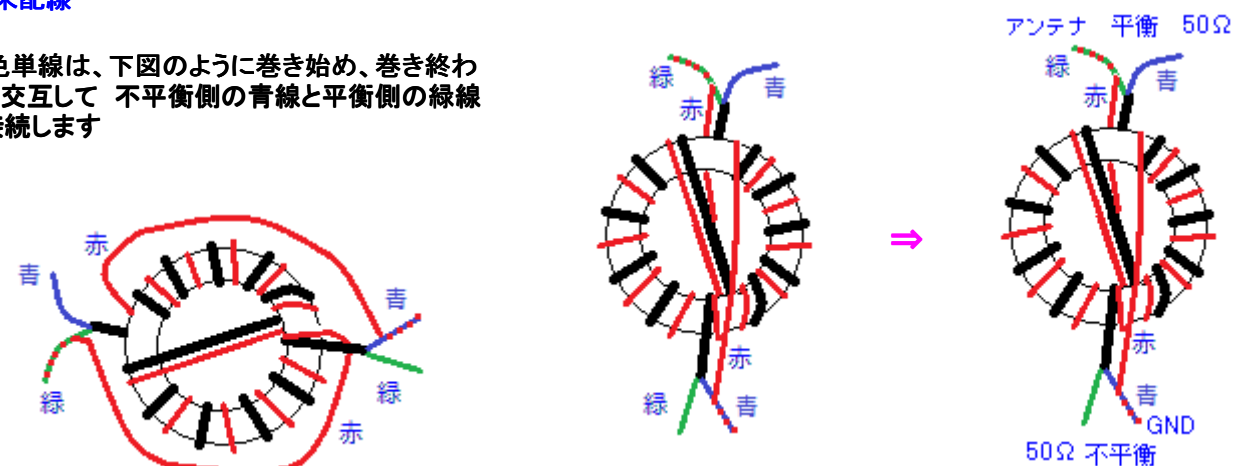


コアの巻き方

- 1、7本より線を半分ほどで折り返します
- 2、7本より線をコアに約半分の長さで通します
- 3、半分の7本より線を6回巻きます (コア内通過数)
- 4、もう片側半分の7本より線を図のように反対側に引張ります
- 5、同様に5回巻きます (コア内通過数) 合計11回巻きます
- 6、赤色単線の端を8cm程残して7本より線の間、同様に11回巻きます

7、端末配線

赤色単線は、下図のように巻き始め、巻き終わりを交互して 不平衡側の青線と平衡側の緑線と接続します



株式会社 大進無線

〒410-0022 沼津市大岡 2223-14
 TEL 055-925-4961 FAX 055-925-4962

URL <http://www.ddd-daishin.co.jp/>
 E-mail info@ddd-daishin.co.jp